

時 空 を 超 え た、ア ー ト の 協 演。

飛鳥アートプロジェクト

2011年11月23日[水祝]ー12月25日[日]

奈良県明日香村

中谷英二子：「霧の彫刻～霧立つ ASUKA…息吹く古代の夢～」

◎会場／石舞台古墳 撮影：上山好庸

石舞台古墳、奈良県立万葉文化館、川原寺跡、
国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区など

絹谷幸二：「緑にしみる悲しみ」

～絹谷幸二・希望 飛鳥からの風 展より～

◎会場／奈良県立万葉文化館



Asuka Art Project 2011

主催／飛鳥アートプロジェクト実行委員会、奈良県、明日香村、毎日新聞社、NHK奈良放送局

■後援／文化庁、観光庁、国土交通省 近畿運輸局、国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所、橿原市、桜井市、奈良県ビジターズビューロー、(社)日本ユネスコ協会連盟、飛鳥・橿原ユネスコ協会

□特別協力／大阪芸術大学グループ □協賛／近鉄、JR西日本

□協力／橿原ライオンズクラブ、橿原ロイヤルホテル、JAならけん、奈良交通、大和信用金庫

○お問合わせ先／飛鳥アートプロジェクト実行委員会 事務局／TEL：0744-45-0744

飛鳥アートプロジェクト

検索



総合プロデューサー
きぬ たに こう じ
絹谷 幸二
(大阪芸術大学教授)

1943年奈良市生まれ。
日本を代表する洋画家であり、アプレスコ画における第一人者。1973年には高松塚保存対策委員として石室内入室調査を行う。近年では、上海万博日本産業館でLEDによる天井画を制作するなど世界を舞台に活躍。日本藝術院会員、独立美術協会会員、東京藝術大学名誉教授。



古来、飛鳥は日本独自の風土と大陸のエネルギーを融合させるとともに、調和し、許しあえるというしやかな日本人の感性を育みました。そして、その感性は今も営々とこの地に受け継がれ、現代に息づいています。2011年、この飛鳥の地でアートプロジェクトがスタートします。日本芸術の原点ともいえる飛鳥の石造物群や古墳壁画などの古代のアートが、現代の様々なジャンルのアーティストと協演いたします。そこでは、新しい飛鳥の魅力とともにアートのおもしろさ、素晴らしさを存分に感じていただけるものと確信しております。ぜひ、飛鳥にお越しいただき、「飛鳥アートプロジェクト2011」をお楽しみください。

作品展

「絹谷幸二・希望 飛鳥からの風」展 有料

会 場：奈良県立万葉文化館 企画展示室
午前10:00～17:30(受付／17:00まで) ※毎週水曜日休館
入 場 料：一般400円(学生は無料) ※団体料金は別途あり
出品作品：緑にしみる悲しみ(絵画・立体)、チェスキーニ氏の肖像(立体)、大和国原(絵画)他、20数点

タイアップ作品

石の彫刻・パブリックアート「飛鳥蓬莱山」 無料

会 場：近鉄飛鳥駅前

絵画作品に加え多数の立体作品を展示。絵画を立体(3次元)へと昇華させるダイナミズムは芸術の歴史をたどる挑戦でもある。また、絹谷氏に影響を与え続ける故郷の奈良をテーマにした作品や自然と人間とのかかわり方について考えさせられる作品など、希望というメッセージが込められた作品展である。



絹谷幸二「緑にしみる悲しみ(立体)」

大阪芸術大学連携イベント

絹谷幸二教授、里中満智子教授、塚本英邦理事長補佐によるトークショー、美術学科教員による展覧会のほか、演奏学科、デザイン学科、放送学科、美術学科の学生によるステージイベント、明日香村特産品のパッケージデザイン、ワークショップなどを開催。詳しくは、公式サイトをご覧ください。



©鈴木理策

霧の彫刻家

中谷 芙二子

札幌生まれ。1966年、NYで芸術と技術の実験グループ「E.A.T.」に加わり、数々の実験的プロジェクトに参加。1970年、「E.A.T.」の科学者の協力を得て、大阪万博ペプシ館で人工霧を使った世界初の大規模な「霧の彫刻」を発表する。以降、霧の彫刻家として中谷が手がけた作品数は50を超える。オーストラリア文化賞、吉田五十八賞特別賞、文化庁メディア芸術祭賞功労賞など受賞多数。

霧のインスタレーション

有料

「霧立つASUKA...息吹く古代の夢」

会 場：石舞台古墳 8:30～19:00(受付／18:45まで)
入場料：一般250円、高校生200円、中学生150円、小学生100円 ※団体料金は別途あり
協 力：山口情報芸術センター(YCAM)

石舞台の四方に巡らせたノズルから発生し、気象に呼応して千変万化する「霧の彫刻」は、時空を超えて、古代人の眼前に開かれていたであろう明日香の自然の原風景を蘇らせ、来訪者を、原初の情景へと誘う。古代人にとって、霧は息吹きであり、生命の根源であった。



中谷芙二子「霧の彫刻」撮影／上山好庸



企画・指導 **脇田 宗孝** (陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

限定
30名

ワークショップ

有料

「土と炎の祈り ～傳仏を造る～」

制作会場：赫葉(明日香村上居)、明日香村中央公民館
展示会場：奈良県立万葉文化館
参 加 費：3,000円(全6回／1点は持ち帰り)
※詳しくはお問い合わせください。

飛鳥時代の人々の祈りを荘厳の世界へといざなった古代寺院の傳仏を再現する。傳仏とは粘土を型で成形して焼成させた後、金箔や彩色がほどこされた仏像をいう。10月下旬より全6回にわたり、講義・傳仏製作・乾燥・穴窯焼成・金箔貼り・展示を行う。



モチーフ／川原寺裏山遺跡出土
方形三尊傳仏



企画・監修 **吉兼 秀夫** (阪南大学教授)

作品展示

無料

「ASUKA COLOR 12」

会 場：川原寺跡

明日香村の秋・冬の景観資源「ススキ」(積み家の奈良県呼称)と冠十二階の色彩をモチーフにした作品の展示に加えて、朱雀(キトラ古墳壁画)、天皇の古墳を示す八角古墳、および過去から未来への旅立ちを示す船を製作し展示を行う。



イメージ写真



(招待作家)
淀川テクニク

作品展示

無料

「ASUKA・タイムトラベル」

会 場：国営飛鳥歴史公園
高松塚周辺地区

招待作家による作品および公募展での入賞作品を、屋外を中心に展示。

(公募展入賞作家)
相川理絵 岩崎伸一 海老沢一仁 北川太郎
木村武司 中尾彩子 藤川奈苗 藤田りよ 村上慧
Art Unit HUST(臼木英之、遠山伸吾)(予定)



淀川テクニク「宇野のチヌ」
瀬戸内国際芸術祭2010 出品作品

注意事項・おことわり／●運営管理のため、会場内が満員の節は一時入場を制限する場合があります。●雨天の場合も予定通り実施しますが、荒天や豪雨のときは中止することがあります。最終日が中止となった場合はセット券に限り払い戻しいたします。●会場内での飲食はお断りいたします。●文化財を傷つけないようご協力ください。立入禁止場所への立ち入りや危険物の持ち込みはできません。●最寄りの駐車場は収容数に限りがありますので、お車の来場はご注意ください。※予告なしに内容を変更する場合があります。予めご了承ください。

その他イベント紹介

新しいイベント事業が決まり次第随時公式サイトでご紹介します。乞うご期待!

「平成23年 秋の国宝高松塚古墳壁画修理作業室一般公開」

期 間：11月19日(土)～27日(日) ※22日(火)を除く(点検日)
会 場：国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設(国営飛鳥歴史公園内)
主 催：文化庁ほか

「堂本印象と東丘社」展

期 間：平成23年11月19日(土)～平成24年1月22日(日)
※毎週水曜日・年末年始(12月28日～1月4日)休館
会 場：奈良県立万葉文化館 日本画展示室
主 催：奈良県立万葉文化館ほか
観覧料：一般600円、高校・大学生500円、小・中学生300円 ※団体料金は別途あり

タイアップイベント

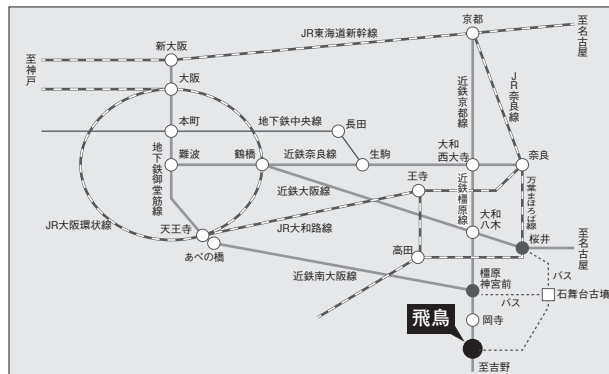
★お得なセット券も販売(1枚1,000円)

- 霧の彫刻「霧立つASUKA...息吹く古代の夢」
- 「絹谷幸二・希望 飛鳥からの風」展
- 「堂本印象と東丘社」展

特典 セット券を提示すると明日香村内の文化施設、寺院で団体割引料金が適用されます

10月下旬より明日香村内、旅行会社ほかで販売予定
詳しくは事務局までお問い合わせください

◎電車でのアクセス



飛鳥駅・橿原神宮前駅・桜井駅からはバスをご利用ください。
○バスの時刻に関するお問合せ：奈良交通テレフォンセンター Tel:0742-20-3100



飛鳥アートプロジェクト 2011

事業に関する
お問合せ

飛鳥アートプロジェクト実行委員会 事務局
TEL:0744-45-0744 FAX:0744-47-2112
E-MAIL: info@asuka-artproject.com
公式サイト: http://asuka-artproject.com/